

授業構想シート

学習指導要領解説の「第3章 各学年の目標及び内容」、「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」の「巻末資料 内容のまとめりごとの評価基準(例)」、教科書などを参考に設定します。単元構想シートⅡの「解決過程を振り返る段階における目指す児童の姿」とそえます。

各教科等で目指す資質・能力の育成

学びを実感

① 自らに合った方法で問題を解決し、知識を再構築する ② 自らに合った方法で問題を解決し、知識を再構築する	③ 自らに合った方法で問題を解決し、知識を再構築する ④ 自らに合った方法で問題を解決し、知識を再構築する
⑤ 自らに合った方法で問題を解決し、知識を再構築する ⑥ 自らに合った方法で問題を解決し、知識を再構築する	⑦ 自らに合った方法で問題を解決し、知識を再構築する ⑧ 自らに合った方法で問題を解決し、知識を再構築する

○目指す児童の姿

○本時のめあて

○本時の展開

数学的な見方・考え方

学習指導要領解説の「第3章 各学年の目標及び内容」、当センター研究成果物の「数学的な見方・考え方の視点一覧」、教科書などを参考に設定します。「単元構想シートⅡ」に記載した数学的な見方・考え方から本時に関わるものを選びます。

Ⅰ 問いをもつ段階

発見・蓄積

問題文

「読み解く力」の三つのプロセスのうち、特に関わりのあるものを記載します。

既習との違い、友だちの考えとの違い、予想との違い、などから児童が問いをもてるような活動を設定します。

めあて

見通しを立てる

目的意識

児童が数学的な見方・考え方を働かすように促す発問を記載します。
例「今日はどんな考え方が使えそうですか？」

Ⅱ 多様な考えを生み出す段階

分析・整理

児童の
考え

児童の
考え

予想される児童の考えを記載します。必要に応じて1人1台端末の活用を取り入れます。

Ⅲ 考えを共有する段階

分析・整理

再構築

共有の仕方を記載します。必要に応じて、ICTの活用、他者の考えを説明する活動を取り入れます。

「解決過程を振り返る段階」につながる発問

「〇〇さんと似ている人？」
「それはどういうこと？」
「〇〇さんはどう考えたのだと思う？」
「なぜこうしたの？」

Ⅳ 解決過程を振り返る段階

振り返りの視点を提示します(目指す児童の姿につながるような発問)。
「みんなの考え方の似ているところはどこですか？」
「どの考え方がわかりやすいと思いますか？」
「いつでも使える考え方はどれだと思いますか？」
「生活のどんな場面で使えそうですか？」

目指す児童の姿をもとに設定します。

適用題

振り返り

記入例

「これまでも使っていた～の考え方が使えました。」
「今日の考え方は～にも使えるのかなと思いました。」
「生活の～で使えそうです。」